

DX関係

DXや働き方改革の推進

インフラ分野のDX推進

データとデジタル技術を活用し、建設業や職員の働き方を変革することで、安全・安心で豊かな生活を実現するためDXの推進に取り組んでいます。

【災害対応のDX】

360°映像や三次元（点群）データ等を用いて、安全かつ正確に災害現場を把握し、早期復旧を目指します。



360°映像



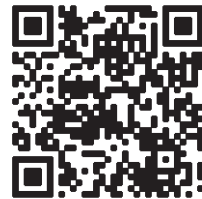
三次元（点群）データ

【SVT（スカイバーチャルツアー）】

UAV（ドローン）で撮影した上空からの360°映像を組み合わせ、上空の様々な視点から現地を確認できます。



SVT画像



令和6年能登半島地震
被害状況ポータルサイト

【メタバース（仮想世界）を用いた合意形成】

インフラ整備後の内容をリアルな3Dモデルで作成し、VRによる仮想世界で関係者への事業説明に役立てています。



VRを活用した地元説明会

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）：進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること



インフラ分野における九州地方整備局のDXの様々な取組を紹介しています。

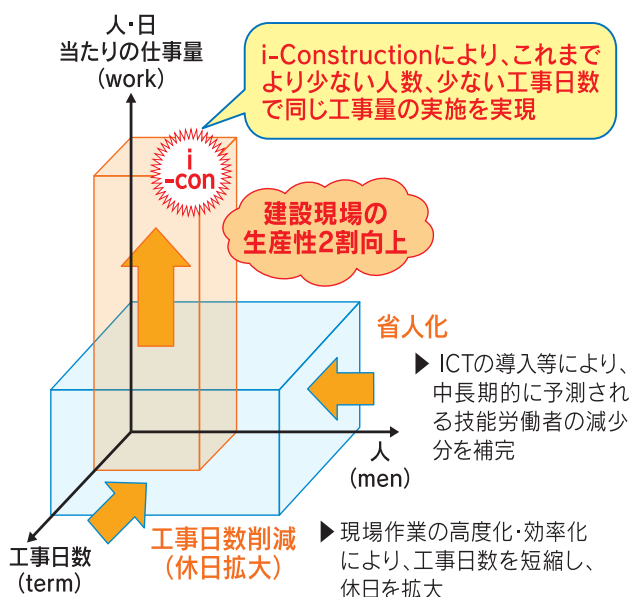


九州インフラ
DX推進室 HP

i-Constructionの推進

今後、懸念される若手労働者の減少による担い手不足などに対応するため、最新のICT（情報通信技術）を活用した3次元モデルを導入し、計画・調査・設計・施工・維持管理の各段階で情報を充実させながら関係者間で共有する「BIM/CIM」を活用することで建設生産システム全体の向上を目指す「i-Construction」を推進しています。

【生産性向上のイメージ】



【ICT土工】

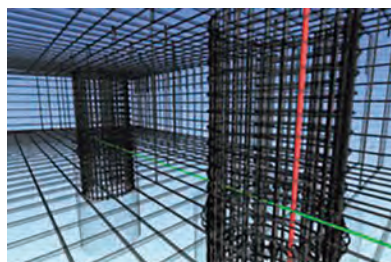
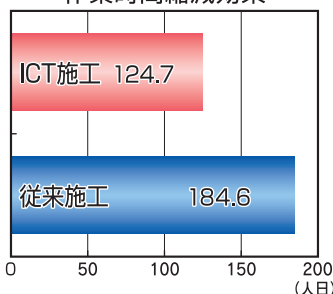


・丁張り不要



3次元データを重機に読み込み、確認しながら目印（丁張り）無しで効率的に工事を行います

【ICT土工活用工事の効果】 作業時間縮減効果



【BIM/CIM活用事例】
杭頭部の鉄筋干渉照査